



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

がんになっても いきいきと!

90 ワクチンは効果大

桜の季節も終わって、穏やかな日が続きますね。みんな運動不足になってませんか？ 晴れた日はぜひ歩きましょう。

関西は、コロナ感染が増えて少し不安な方が多いように思います。皆さんワクチンは怖いですか？

ワクチンは、種類によって違いがあるものの、8〜9割の感染予防効果があるとされています。イギリスではもう半数の人がワクチンを打ち、新規感染と死者が1割に減っています。イギリスはほとんどが変異株ですが、ワクチンが有効だということです。

しかし、発熱、アレルギーなどの副反応があります。発熱は一日寝ていると治まります。アレルギーは、対応の必要がない皮膚反応が10万人に二、三十人です。血圧が下がるアナフィラキシーショックが10万人に1人程度ありますが、血圧を上げる薬や点滴の処置を受ければ後に問題が残りません。

ワクチンも怖いかもしれませんが、コロナ感染の方が怖いですよ。普通の風邪とは全く違って、呼吸とおなかの症状が強いです。ウイルスが血管にくっついて炎症を起こし、しもやけのような指先の変色もあります。指に血管炎が起こればしもやけですが、腸に起これば下痢、肺に起これば呼吸困難を引き起こします。重症化しなくても後遺症が問題です。

2、30代は重症化率が低いものの、逆に後遺症が多いです。国立国際医療研究センターが行った

後遺症の調査では、発症後2カ月では48%、4カ月では27%の人に後遺症がありました。特に呼吸困難、倦怠感、嗅覚障害は4カ月たっても10%の患者で残っていました。脱毛は24%に見られ、うち64%は改善しませんでした。10%で後遺症が残れば、10万人では1万人です。一方、アナフィラキシーショックは10万人に1人です。後遺症は1万倍。コロナ感染にな

るより、ワクチンの方が良いですね。後遺症は下手すると一生残るかもしれません。それにイギリスでは今もワクチン未

接種の人に感染が広がっています。未接種だとずっと感染予防が必要になります。それで感染した場合には、1割の人に呼吸困難、倦怠感、嗅覚障害が残ります。感染の不安があれば他の人とも会えませんね。よく考えてみましょう。

テレビや雑誌の情報は、不安を煽って視聴者、読者を増やしてませんか？ 彼

らはそれが仕事です。不安になったらたくさん見てくれませぬ。そんな報道にごまかされないで自分の頭で考えてみましょう。不確実な方法に流されずに正しく自分の命を守りましょう。